

<b>Title</b>	近代社会像にとってのフランスの定型性：憲法学からの一つの見方(共同研究報告：憲法研究)
<b>Author(s)</b>	豊川, 慎
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.19-2 : 16-17
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/repos/modules/xoonips/detail.php?item_id=2313">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/repos/modules/xoonips/detail.php?item_id=2313</a>
<b>Rights</b>	

聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

# 共同研究報告

## 【憲法研究】

### 近代社会像にとってのフランスの定型性 —憲法学からの一つの見方—

2009年4月20日（月曜日）、聖学院本部新館2階集会室において、2009年度第1回「憲法」研究会（研究会の正式名称は「大日本帝国憲法から日本国憲法へ——憲法史の観点から」研究会）が開催された。講師として東京大学名誉教授の樋口陽一先生をお招きし、「近代社会像にとってのフランスの定型性——憲法学からのひとつの見方」と題して発題いただいた。

「憲法」研究会は今年度より新たに開始された研究会であるゆえ、講師の発題の概要を記す前に、「憲法」研究会全体の概要を記しておきたい。

研究会は1年間の予定で計画されており、「近代憲法の出発点となり、公理ともなったフランス憲法の影響を受けつつ成立したドイツ憲法をモデルとして制定された大日本帝国憲法について、ドイツ憲法をモデルとした経緯、ドイツにおける憲法調査の状況、憲法制定へのドイツ人の関与、憲法の解釈・運用に対するドイツ憲法学の影響、ドイツ憲法をモデルとしたことの功罪などを検討し、この検討を踏まえて、日本国憲法がアメリカ憲法の強い影響を受けて成立したことの持つ意義を明らかにする」としている。また当該研究の特

色は、「日本国憲法の前身である大日本帝国憲法について、ドイツ憲法をモデルとして選択したことのプラス面とマイナス面をドイツ憲法と大日本帝国憲法との両方に精通した憲法史研究者の研究を踏まえて明らかにしようとする事」にある。このような趣意で第1回目の「憲法」研究会が開催された。以下、樋口先生による発題の概要を記す。

「ドイツから日本」を考える前提として、樋口氏はまずドイツとフランスの相互関心としてカール・シュミット（1888-1985）とルネ・キャピタン（1901-1970）を一例に挙げる。フランス革命の理解として、シュミットはフランス革命の偉大さを強調するに際し、「政治的統一」（politische Einheit）を実現したフランス革命は「自由主義に拘わらず」それを実現し、そのことが偉大だと理解する。樋口氏によれば、このようなフランス革命の理解は適切ではなく、キャピタンを論じて、一体かつ不可分の「政治的統一」がフランス特有の「共和国」であるという。ドイツにおいては国家と市民社会は二元論的に捉えられるが、フランスの場合は公的かつ政治的性格をもつ「個人」と「国家」の二項対立という図式であり、国家と社会は一元的に理解される。つまり、ここには留保をつけておく必要があるものの、基本的には国家と社会とが区別されない。それにはフランス革命の特徴であった反結社主義の影響もあり、



第1回憲法研究会



樋口陽一 東京大学名誉教授

非営利諸団体が認められるのには1901年の結社の自由法に待たねばならないということもあった。

J. D. キューネによるフランス、アメリカ、ドイツにおける個人・国家・社会の図式を紹介し、樋口氏はそれらと比較して日本についても最後に論じられた。先のシュミットの言葉を借りれば、樋口氏いわく、日本は「自由主義に拘わらず」というものなしに「政治的統一」を実現した。ここでは政権奪取が問題であってcivilのことは問題ではなかった。日本においては、ドイツ的な個人・市民社会・国家の三元論の封建的身分制は骨抜きにされ、家父長制と封建性が同義で用いられた。樋口氏によれば、日本における「政治的統一」は実は近代が想定しているはずの契約的国家ではなく、国家というよりも「民族」であって、今日の愛国という語の「国」は近代国家ではなく「民族」そのものであると指摘された。

氏の発題後、活発な質疑応答がなされ、盛会のうちに第1回の研究会は閉会となった。

(文責：豊川慎 聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科 博士後期課程)

(2009年4月20日、聖学院本部新館2階)